町長タウンミーティング【向陽台町会】議事録（要旨）

日時：2025/11/25（火）19:00～20:35
場所：向陽台公民館　ホール
参加者数：23 人

●　町長説明

●　意見交換

【復旧復興・被災者支援】

Ｑ１．復興に向けた計画として地籍調査のスケジュール等が示されたが、被災された方がどういう形で新しい住まいを求めているのか等、意向調査はしているのか。

Ａ１．被災された方々には、住まいの意向についてアンケート調査を行い、全ての方の意向を把握している。これを基に復興公営住宅の戸数を決め、令和８年度から着手し、令和９年度中の入居開始に向け整備を進めていく。

【まちづくり・地域振興】

Ｑ２．去年と今年、向陽台町会として世界の凧の祭典に参加しなかったところ、「清湖小の子供達が凧揚げを終えても帰る所（町会のテント）がなかった」という苦情があった。凧揚げに参加できない町会の分もテントを張ってくれたら、地区の小学生達も凧揚げに参加しやすいと思う。

Ａ２．人数が揃わず凧揚げに参加できないといった町会の事情は認識している。長年続けてきた内灘の代名詞となっているイベントなので、凧を作って揚げることができない町会の皆さんにもテントを用意し、町の一大イベントを楽しんでいただきたいと考えている。関係機関と協議したい。

Ｑ３．最近、ウイングやコンフォモールの靴屋など、生活に密着する商店が無くなっていく。町として、生活に密着する商店を誘致することも考えてほしい。

Ａ４．町では、空き店舗を活用した創業支援制度や企業誘致施策に取り組んでいる。この創業支援制度によって昨年度は 12 件の創業を支援した。今年度も現在７件、飲食店や美容室、不動産店舗が開業した。一方で、時代の流れからインターネット販売が浸透したことにより、実店舗への客足が減り、利益を確保できず閉店に繋がっていると考える。町としては、アンテナを高く張り、空きテナントや商業用地、創業支援制度等を紹介しながら、積極的に取り組んでいきたい。

Ｑ４．積極的に企業誘致に取り組み、仕事や賑わいが創出されれば人は来ると思うが、昨今は人よりも物が移動する時代である。そのような視点で企業誘致やまちづくりを考えてもよいのでは。

Ａ４．町では、市街化調整区域を撤廃すれば、南部地域のように人は来ると考える。今後はネット通販等どういった形のものが流行るか分からないが、発想を転換しながら、アンテナ高く張って官民連携で考えていきたい。

Ｑ５．金沢市や富山県など、近隣自治体と連携し流通が活発になれば、中間に位置する内灘町は活性化していくと考える。金沢市をはじめ近隣自治体と
もっと連携を図ってはどうか。

Ａ５．内灘町は、金沢市・白山市・野々市市・かほく市・津幡町と、6 市町で広域連携に相当前から取り組んでおり、これまでも小児救急の共同運用や病児保育の相互受入を事業化している。この枠組みで今後も連携を進めることになっており、今年度中に第三次計画が取りまとめられる予定である。今後もこうした形で広域連携を積極的に進めていきたい。

Ｑ６．町の活性化推進会議のようなものを創設すると説明があった。そのような委員会のメンバーに町民の希望者を入れ、それぞれの町会だけじゃなくて、町全体の人達で話し合う場を作り、女性活躍についても考えていって欲しい。

Ａ６．先程説明した内灘海岸・放水路回遊空間整備構想は、学校や民間の方々に携わってもらい、若者や女性の活躍といった声を反映させた。日本も総理大臣が女性になり、今後ますます女性が活躍する社会になることが期待される。町としても今後もしっかりと取り組んでいきたい。

Ｑ７．中国でも台湾でも高齢者が増えている。パークゴルフやグラウンドゴルフ交流大会を開催してはどうか。

Ａ７．国際友好都市との交流については、中国呉江市は合併等により自治体の単位ではなくなったので難しいが、台湾の竹北市に関しては、コロナ前に吹奏楽部が交流した。コロナ禍に向こうの市長が交代されているので、リモート等で一度話す機会を設け、色々な面で交流できないか協議したい。

【防災・安全・住環境】

Ｑ８．10 数年来、遊歩道を向こうまで毎朝掃除している方が 1 人いる。町で様々な表彰があるが、こういう方を表彰したら、もっと町が美しくなるのではないか。

Ａ８．こうした素晴らしい方を地域から表彰候補者に推薦していただくような制度を設けるなど、他自治体の事例を参考にしながら検討したい。

【インフラ・都市整備】

Ｑ９．遊歩道について、清湖小学校から鶴ケ丘方面は全てアスファルト舗装されているが、

清湖小学校から向陽台方面は砂利舗装となっている。少しでもアスファルト舗装してほしい。

Ａ９．遊歩道は当初、水が浸透するよう砂利舗装を施していたが、徐々に表面が剥がれて歩きにくい状態であることは把握している。穴が空けば一時的な補修を行っているが、全体をアスファルト舗装するには財政負担がかなり大きい。同様のご意見は他からも伺っているので、今後どのような整備が有効か検討していきたい。

Ｑ１０．向陽台公園のマルエー側は清掃・芝刈りをしてもらっているが、緑台側の花壇は手入れが行き届いていない。花壇を伐採・手入れできないか。

Ａ１０．現地を確認したうえで、担当課で対応を検討したい。

Ｑ１１．バス路線に整備した消雪装置の水を縦の通りにも流れてくるよう何か工夫できないか。

Ａ１１．ご提案のアイデアが実行性のあるものかどうか調査させていただきたい。消雪装置は、バス路線や通学路、危険な坂道、交差点などを優先的に整備を進めているところだが、整備には多くの事業費が必要となり、町はこれまで国庫補助金等を活用し事業を進めてきている。近年、全国各地で大規模な災害が発生していることもあってか、国に町の消雪施設整備にかかる予算を要求しても満額の予算が付くことはなく、10 年間の整備計画も遅れ遅れになっている状況。整備計画の見直しについて検討しながら、機械除雪で対応し、また、他に良い方法がないか検討していきたい。

【行政運営・財政・住民サービス】

Ｑ１２．内灘町内の住所に付く字（あざ）が田舎くさく感じる。字を取ることで移住する人が増えるのではないか。

Ａ１２．町内では、白帆台だけは字が付かない。団地造成時に時代に合わないとして字を取った経緯がある。既存の地区の字を取る場合、登記など全て変更しなければならず、大きな費用がかかるため、調査研究していきたい。

（閉会）